児童に見られるつまずき

　全体を１として、割合を用いて考えることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　全体を１とした場合の線分図に、問題場面から関係する数値を記入させることで、全体を１として、各部分が全体の何倍になるのかを考えられるようにする。

指導事例集ｐ．１０１

１　学年・単元名　　第６学年　割合を使って（数量関係領域）

２　単元目標

全体を１と考え、割合の和を考えて問題を解くことのよさがわかり、問題を解くことができる。

３　単元の内容

**・全体を１として、部分と部分の割合の和を考えて解く。**

・割合の積を考え、何倍にあたるかを考えて解く。

４　本時の目標

　　全体を１とし、部分と部分の割合の和を考えて問題を解くことができる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入  展開  まとめ | １ 問題文を読み、題意をとらえる。  ２ めあてを立てながら解決方法を確認する。  ３ 自力解決をする。      参考：ノート①  Ａの管とＢの管からいっしょに水を入れる→あわせる    参考：授業の様子  ４ 全体で話し合う。  参考：授業の様子  ５ 本時のまとめをする。  ６ 適用問題をする。  参考：ノート②  ７ 本時をふり返る。 | ・問題文を前半と後半に区切り、問題の構造を把握させる。  **・前時で学習した「全体を１と考えた」ことを想起させる。**  ・前時の問題と比較しながら考えさせる。  **・「Ａの管とＢの管で１分間にどれだけ入るか」を考えさせ、線分図にかかせる。**  ・近くの友だちと考えを広げ合う。  ・線分図にかくことで答えが６分ということは見えるが、そこからどのような式になるか考えさせる。  ・考えたことや解決したことを、線分図と式を使って説明させる。  ・部分と部分の割合の和を考えると問題解決ができることを線分図と**関連づけながらまとめさせる。** |